

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 4 6 10	運営推進会議の開催においてご家族や運営推進委員の方へご意見を求める機会を持たないことが多く、日々の活動報告のみとなっている。今後運営推進会議において問題点の提起や外部評価の結果に対してご意見を求めていく。ご家族、運営推進委員、スタッフと共に協力して必要がある。	運営推進会議においてご家族や運営委員のご意見を真摯に受け止め、入居者が快適に過ごせる様に協力をしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価の結果の報告、改善に向けての目標達成計画の開示を行う ・運営推進会議へ参加出来なかったご家族へ会議録や資料の送付を行う ・身体拘束の現状報告、苦情や要望等に関する記録の作成と報告を行う ・ひまわりでの問題点解決策や改善策に関して情報等の共有を行っていく 	6ヶ月
2	2 49 52	地域の保育園や学校よりの年賀状を掲示しており入居者が喜ばれている。しかしせつかくの年賀状への返事を座出していない。またギャラリーがあるが作品は以前の物で古くなっている。ギャラリーの活用が出来ていない。町の中心にあり八朔祭では多くの通行がある。	年賀状の返事やギャラリーでの作品展を行い、地域との交流の場として提供していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年届いている学校や保育園へ年年賀状を書く ・ひまわり便りの発行、学校や保育園にも出しグループホームの紹介を行う ・ギャラリーへ作品を展示してもらえる人を募り八朔祭の日ギャラリーを解放する ・伴理事長の写真の展示を行う 	12ヶ月
3	20 49	花見や紅葉狩り、運営推進委員さんやご家族との外出を年に1回行っている。しかし日々の生活の中で殆どソファーに腰かけテレビを見られていることが多く、初詣へも出かける事がない。また、おやつも栄養課から来る物である。若い頃の懐かしいおやつ作りを行い楽しみを持っていただきたい。	天気の良い日は外で過ごしながら近所や法人の施設の人との交流を行う。おやつ作りも入居者の知恵を借りる。	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション担当のスタッフを決める ・1週間の計画を立てスタッフが全員レクリエーションが出来るようにする ・計画の中に散歩コースを決める ・誕生会や季節毎の行事の時に皆でおやつ作りを行う 	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。